

News Letter



[Contents]

- 1 ... ご挨拶
- 2 ... ダイバーシティ推進体制、アクションプラン
- 3 ... ダイバーシティ推進室の活動内容
- 4 ... Topics、編集後記

ご挨拶



組織全体の成長につながる取り組みを

兵庫医科大学 学長 ダイバーシティ推進本部長 | 野口 光一

本学は、2010年より学生に向けた男女共同参画特別講義を開始、2014年には「男女共同参画宣言」を行い、育児支援や意識啓発など種々の活動を行ってまいりました。

2020年4月には、本格的に事業を推進すべく、私が本部長を務める推進本部を設置し、開学50周年を見据えた新たなビジョンおよびアクション・プランを打ち立てました。さらに、本事業の実務を担う「ダイバーシティ推進室」の室長として、ダイバーシティ推進担当学長補佐である飯島尋子教授を任命し、本学の新たな体制を構築しました。

医学生の女性比率が増加傾向にある本学にとって、女性医師や研究者がキャリアを継続していくための仕組みづくりはもちろんのこと、役員や管理職の意識改革が最大のテーマであると感じております。

ダイバーシティ推進事業は、女性の活躍に限ったことではなく、組織全体の成長に繋がるものであります。ひとりひとりがその能力や特性を發揮でき、生き生きと学び、働きつづけられる真に活力のある組織となるため、積極的にダイバーシティ推進事業を進めてまいります。今後とも、本事業に対するご理解・ご協力を深くお願い申し上げます。

次世代に向け、女性研究者の裾野を拡げるために

ダイバーシティ担当学長補佐 ダイバーシティ推進室長 | 飯島 尋子

本学では、2020年4月に学長を本部長として新しくダイバーシティ推進本部が設置され、縦と横のつながりを強化し、大学・病院が一体化した体制が構築されました。2022年に開学50周年を迎えるのを機に、これまでの男女共同参画の活動を発展させ、SDGsの目標でもあるジェンダー平等をより一層押し進めます。さらには多様な人々が互いに尊重し合い、各々の能力や個性を十分に發揮して生き生きと活躍できる教育・研究・職場環境作りを進めていきます。より良い医療の提供と医療従事者の健康の両立を目指す積極的な取り組みを推進していきたいと考えております。

2020年11月、私どもの今後の取り組みの提案が、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特性対応型）（文部科学省科学技術人材育成費補助事業）に採択されました。

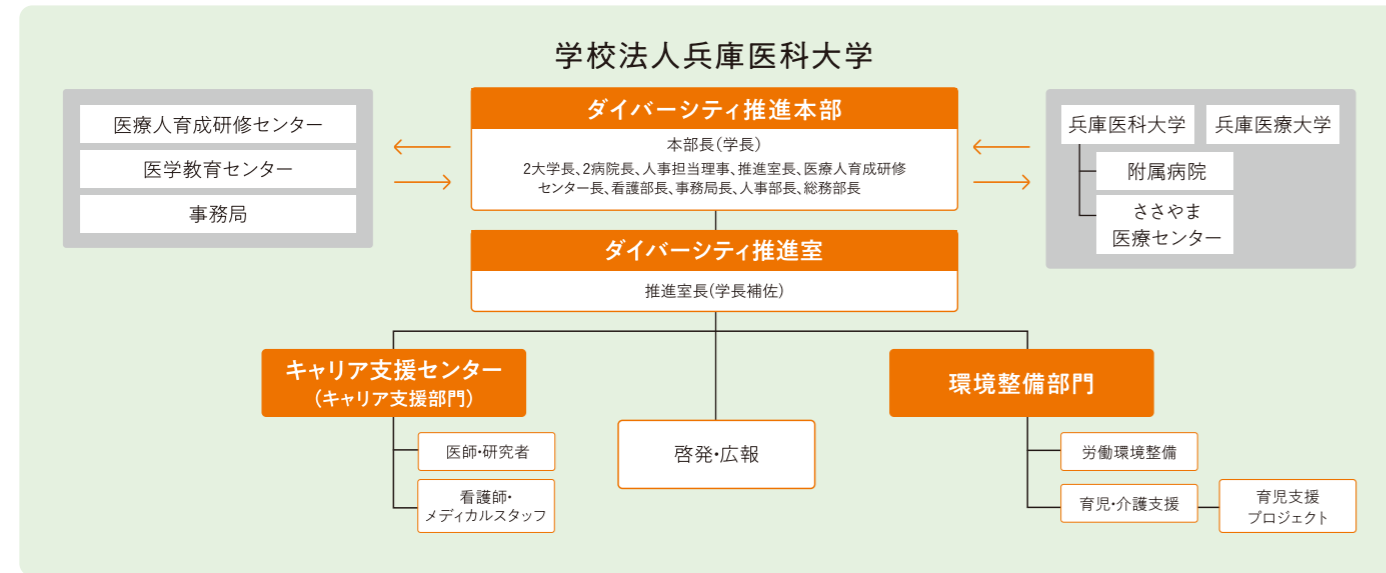
本学の女子学生の比率は50%前後で推移しております。ジェンダー平等により一人ひとりが自信を持って輝ける組織が構築できれば優れた女性研究者が増加し、若い世代にもたらす波及効果は大きいと考えます。次世代の女性研究者の裾野を拡大させるキャリア支援の仕組みをつくり、今後さまざまな活動を企画・実施してまいります。どうぞよろしく願いいたします。



「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特性対応型)」に採択

兵庫医科大学は、令和2年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特性対応型)」に採択されました。本学では、医学生や若手医師・研究者の女性比率が増加傾向にあるにもかかわらず、役員や管理職における女性比率は低迷していることを課題とし、積極的な女性の上位職登用を促進するとともに、女性医師・研究者が継続的且つ自律的にキャリアを形成し、真に優秀な人材が活躍できるための風土および環境の構築を目指します。

ダイバーシティ推進体制



アクションプラン

01 多様な人材の活躍を実現するための働き方改革の推進

- 仕事や研究・修学と、育児・介護等を両立できるための支援策の充実
- 「時間制約」を前提とした柔軟な働き方の推進
- 優秀な人材の離職を防ぐための職場環境づくり
- 障がい者就労支援の推進、高齢者就業の促進



02 女性の上位職への登用促進

- 女性をはじめとした多様な人材のリーダー育成の強化
- 法人の運営における意思決定への女性参画拡大

03 ダイバーシティ環境の実現に向けた教職員の意識改革

- 役員・経営層におけるダイバーシティ経営に関する意識改革
- 部下の多様性を活かせる管理職の育成
- 教職員一人ひとりが自律的にキャリアについて考え、行動するための意識啓発

2025年
3月までに

医師における
女性の教授比率
15%を達成

事務職員における
女性管理職比率
20%を達成

男性の
育児休業取得率
5%を達成

ダイバーシティ推進室の活動内容

《 研究力向上 》

2021年4月 キャリア支援センター^(※)がオープンしました!

当センターでは、研究者の皆さんが、さまざまなライフイベントと研究活動を両立できる仕組みをつくり、研究能力の向上と積極的なキャリアアップを支援します。お気軽にご相談ください。

- 相談員(教員)がキャリアや研究に関する相談や支援を行います。
- 復職3年以内の研究者の方に研究支援員を配置します。
- 優秀な女性研究者や復職者を対象に学内研究費助成を実施します。
- その他、科研費獲得支援、英語論文作成費補助制度、顕彰制度、各種セミナー・研修を実施します。



(※)兵庫医科大学
西宮キャンパス
10号館3階



Comment

私の研究生生活は、研修医兼大学院生で始まり、途中から基礎研究に特化しました。「臨床現場で直面した疑問を研究で解いたらええな」と、研究を続けてきました。そんな経験を基に、皆さんの研究の後押しができればと考えております。

キャリア支援センター副室長 筒井 ひろ子 教授



Comment

相談員を拝命しました長崎国際大学の佐々木裕(ゆたか)です。これまで大阪大学、MGH、熊本大学で、臨床研究や基礎研究に従事してきました。経験を活かし、若い研究者の研究活動をさまざまな側面からお手伝いしたいと思います。お気軽にお声掛けください。

佐々木 裕 特別招聘教授



《 環境整備 》

▶ 保育環境の整備

院内病児保育室「ゆりかご」や隣接する保育園に本学教職員専用枠を設けるなどの保育環境を整備。また、育児支援プロジェクトによる「ママさんパパさん交流会」など、さまざまなイベントを実施しています。



▶ オンラインカンファレンスシステムの構築

教職員が時間や場所にとらわれることなくカンファレンスやセミナーに参加できるよう会議室および講義室に、Web会議システムを整備しました。

《 広報活動 》

ホームページ、ニュースレター、その他SNSなどを通じて、本学の取り組みやダイバーシティ推進事業に関するさまざまな情報を積極的に発信します。

Topics

ダイバーシティ推進室のロゴマークを作成し、ホームページをリニューアルしました。ロゴマークは、未来に向かって羽ばたく姿をイメージしています。

《 意識改革 》

役員・管理職の意識啓発、女性のエンカレッジメントやリーダー育成、研究力向上セミナーなど、ダイバーシティ環境実現への意識改革を進めます。

Topics

2021年度は、SNS活用セミナー(4・9月)、ダイバーシティ推進講演会(7月)、論文執筆セミナー(7・9・11月)、女性・若手研究者向けセミナー(12月)などを開催します。

《 同窓会・後援会・教職員との連携 》

同窓会組織・緑樹会、後援会、教職員と連携し、本学のネットワークを活かしたダイバーシティ推進活動を行います。



キックオフ講演会「新たな価値の創造をめざして」開催 オンライン

2021年6月29日(火)、文部科学省人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特性対応型)」キックオフ講演会を開催し、関係機関や全国の大学および医療機関の関係者、本学教職員など109名の参加がありました。

文部科学省・人材政策推進室長・三輪 善英様より来賓のご挨拶をいただき、続いて本学のダイバーシティ推進室長・飯島 尋子より事業紹介を行いました。基調講演では、久留米大学・矢野博久教授より「久留米大学におけるダイバーシティの歴史と今後の取り組みについて」、科学技術振興機構・山村康子プログラムオフィサーより「女性研究者の活躍推進に向けて」と題して、ご講演いただきました。

基調講演のあとは、参加者やパネリストから多くの質問があり、昨今のダイバーシティ推進への関心の高さを感じました。活発な意見交換が行われ、大変有意義であり密度の濃い講演会となりました。

この講演会を皮切りに、本学ではダイバーシティ推進事業を本格的に始動します。まだまだ、手探りの状態ではありますが、関係機関とも積極的に情報交換を行いながら、ダイバーシティ研究環境の実現に努めてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。また最後に、ご参加いただきました皆さまへ心より御礼申し上げます。



2021年度 学内研究費助成採択者

女性研究者の研究能力向上と優れた研究成果の創出、また復職者の研究リスタート支援を目的に3つの助成タイプを設定し、学内における研究費助成を実施しています。

「キャリア支援研究助成」※助教以上

氏名(職名/所属)	研究課題名
土居 亜紀子 (助教/神経再生研究部門)	脳梗塞病態下のミクログリア/マクロファージ除去による脳内炎症制御が傷害/虚血誘導性神経幹細胞を起点とした神経再生機構に与える影響
孫 安生 (助教/病原微生物学講座)	潰瘍性大腸炎発症における病原性常在菌 <i>Fusobacterium ulcerans</i> の役割解析
北中 順恵 (講師/薬理学講座)	依存性薬物の嗜好性発現と確立に寄与する細胞内情報伝達系の解明
吉原 享子 (助教/血液内科)	液性免疫不全状態にある血液疾患患者における新型コロナウイルスワクチン接種後の抗体産生に関する検討
大東 真菜 (助教/糖尿病内分泌・免疫内科)	糖代謝、睡眠障害、認知機能障害の相互関連についての検討

「リーダーシップ向上研究助成」※講師以上

氏名(職名/所属)	研究課題名
吉川 良恵 (講師/遺伝学)	BAP1生殖細胞系変異を有しない家族性悪性中皮腫患者の易罹悪性遺伝子の探索
合田 亜希子 (講師/循環器内科)	心不全患者における左房機能と心内圧との関連について

「スタートアップ研究助成」※復職3年以内

氏名(職名/所属)	研究課題名
角谷 美樹 (助教/糖尿病内分泌・免疫内科)	睡眠の質、自律神経機能と耐糖能異常およびインスリン分泌能の変化の関連について
今坂 舞 (助教/遺伝学)	新規糖尿病モデル: lincRNA-p21過剰発現マウスの解析
江口 明世 (助教/医療クオリティマネジメント学)	オーラルフレイルと心不全の予後についての検討

編集後記

朝晩涼しくなって参りましたが、いかがお過ごしでしょうか。おかげさまでニュースレターvol1を無事発行することができました! 始まったばかりの事業ではありますが、皆さまにご協力をいただき、こうして活動できています。頑張っている人がきちんと評価され、お互いが認め合い、成長していけるような組織を目指し、これからも邁進してまいります。最後までお読みいただきありがとうございました。次号も暖かく見守っていただけると嬉しく思います。

発行

学校法人兵庫医科大学 ダイバーシティ推進室
〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
Tel: 0798-45-6428(直通)

Email: danjyo-kyodo@hyo-med.ac.jp

URL: <https://www.corp.hyo-med.ac.jp/diversity/>

